

平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月27日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2551 URL http://www.marusanai.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡辺邦康
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長(兼)管理担当 (氏名)堺信好 (TEL) (0564) - 27 - 3700
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年9月21日～平成28年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	17,932	2.8	463	20.8	282	△50.2	164	△51.0
27年9月期第3四半期	17,439	6.6	383	683.5	566	813.4	336	—

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 137百万円(△65.4%) 27年9月期第3四半期 396百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	71 90	—
27年9月期第3四半期	146 67	—

平成28年3月21日付で普通株式5株を1株に併合しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益金額」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	17,988	3,761	20.7
27年9月期	16,994	3,740	21.8

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 3,727百万円 27年9月期 3,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年3月21日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成28年9月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成28年9月期(予想)の1株当たり年間配当金は6円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年9月21日～平成28年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	24,405	2.9	472	△25.1	454	△42.7	284	△45.0
								123 91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年9月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

株式併合を考慮しない場合の平成28年9月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は24円78銭となります。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) マルサンアイ鳥取株式会社

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年9月期3Q	2,296,176株	27年9月期	2,296,176株
28年9月期3Q	1,429株	27年9月期	1,233株
28年9月期3Q	2,294,874株	27年9月期3Q	2,295,224株

(注) 平成28年3月21日付で普通株式5株を1株に併合しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成27年12月10日開催の第64回定時株主総会において、平成28年3月21日を効力発生日として、単元株式数の変更、株式併合について承認可決され、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成28年9月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成28年9月期の配当予想

1株当たり配当金
 期末 6円 (注1)

2. 平成28年9月期の通期の業績予想

1株当たり当期純利益
 通期 24円78銭

(注1) 株式併合考慮前に換算した配当額であります。

(注2) 平成28年9月期の年間配当金 (株式併合考慮前) は6円となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年9月21日～平成28年6月20日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等を背景に、企業業績や雇用環境に改善の動きが見られたものの、急速な円高や海外の経済情勢が不安定であり、先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、穀物価格の変動や為替市場の変動など、企業を取り巻く環境は、不透明な状況が続いております。

みそ業界におきましては、食の多様化による出荷数量の減少が続いております。

豆乳業界につきましては、健康志向の高まりを背景に、市場は堅調に推移しております。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減等の利益対策に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、179億32百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は、4億63百万円(前年同期比20.8%増)、経常利益は、2億82百万円(前年同期比50.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億64百万円(前年同期比51.0%減)となりました。なお、平成28年4月に発生した熊本地震により、豆乳の生産に影響を及ぼし、やむを得ず一部豆乳製品を約1ヵ月間休売いたしました。

① みそ事業

生みそ、調理みそ、即席みそが減少したため、売上高は、35億31百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

a. 生みそ

業務用商材拡大に伴い出荷数量は増加したものの、販売単価が下落したため、売上高は、29億10百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

b. 調理みそ

特定企業向けの製品を一部統制したため、売上高は、3億13百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

c. 即席みそ

特定企業向けの製品を一部統制したため、売上高は、3億7百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

② 豆乳飲料事業

豆乳及び飲料が堅調に推移し、売上高は、130億3百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC. につきましては、持分法による投資利益11百万円を営業外収益に計上しております。

a. 豆乳

震災により一部製品を休売したものの、海外向け製品及びリニューアルした「ひとつ上の豆乳」シリーズ等が堅調に推移し、売上高は、106億22百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

b. 飲料

震災の影響により水の出荷が好調であったため、売上高は、23億81百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

③ その他食品事業

「豆乳グルト」が好調に推移したため、売上高は、13億81百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

④ 技術指導料その他

技術指導料及び受取ロイヤリティーとして、売上高16百万円(前年同期比37.8%増)を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、86億円となり、前連結会計年度末に比べ5億75百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加1億36百万円等があったものの、受取手形及び売掛金の減少6億26百万円等によるものであります。

固定資産は、93億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億69百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、建設仮勘定の増加18億59百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、179億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億93百万円増加いたしました。

② 負債

流動負債は、95億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の減少4億80百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少3億79百万円等があったものの、短期借入金の増加11億50百万円等によるものであります。

固定負債は、46億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加8億48百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、142億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億72百万円増加いたしました。

③ 純資産

純資産合計は、37億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加50百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、平成27年10月29日に公表いたしました連結業績予想に記載された内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年1月4日に鳥取県に当社100%出資子会社として「マルサンアイ鳥取株式会社」を設立いたしました。昨今の豆乳及び飲料の需要拡大に伴い、安定供給に支障をきたす恐れがあるため、日本国内における生産拠点の確保を目的としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,991,185	2,127,872
受取手形及び売掛金	4,013,990	3,387,742
商品及び製品	709,428	739,633
仕掛品	528,118	516,738
原材料及び貯蔵品	530,752	557,013
その他	1,404,377	1,272,717
貸倒引当金	△1,300	△1,000
流動資産合計	9,176,552	8,600,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,462,972	2,348,738
機械装置及び運搬具(純額)	1,633,722	1,446,502
土地	2,598,429	2,598,429
建設仮勘定	853	1,860,430
その他(純額)	59,762	98,798
有形固定資産合計	6,755,740	8,352,900
無形固定資産	201,333	227,924
投資その他の資産		
投資有価証券	584,885	594,716
その他	286,992	223,534
貸倒引当金	△10,878	△11,293
投資その他の資産合計	860,998	806,957
固定資産合計	7,818,073	9,387,782
資産合計	16,994,625	17,988,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,546,996	3,066,093
短期借入金	700,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,651,007	1,271,023
未払法人税等	166,410	84,716
賞与引当金	347,112	168,675
未払金	2,854,583	2,519,746
その他	264,145	635,462
流動負債合計	9,530,255	9,595,716
固定負債		
長期借入金	2,072,361	2,921,065
退職給付に係る負債	1,328,383	1,278,891
資産除去債務	214,809	217,311
その他	108,268	213,763
固定負債合計	3,723,822	4,631,031
負債合計	13,254,078	14,226,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	2,090,038	2,140,288
自己株式	△3,063	△3,624
株主資本合計	3,587,458	3,637,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,733	18,856
為替換算調整勘定	18,083	3,014
退職給付に係る調整累計額	81,507	68,514
その他の包括利益累計額合計	119,324	90,385
非支配株主持分	33,763	34,219
純資産合計	3,740,547	3,761,753
負債純資産合計	16,994,625	17,988,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月21日 至平成27年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月21日 至平成28年6月20日)
売上高	17,439,277	17,932,953
売上原価	12,787,679	13,067,572
売上総利益	4,651,597	4,865,380
販売費及び一般管理費	4,268,238	4,402,211
営業利益	383,358	463,169
営業外収益		
受取利息	4,374	3,824
不動産賃貸収入	17,982	19,059
持分法による投資利益	46,084	11,440
デリバティブ評価益	167,027	—
その他	30,991	22,148
営業外収益合計	266,460	56,473
営業外費用		
支払利息	31,360	24,765
デリバティブ評価損	—	192,366
その他	52,223	20,243
営業外費用合計	83,583	237,374
経常利益	566,235	282,267
特別損失		
固定資産除却損	9,254	8,769
特別損失合計	9,254	8,769
税金等調整前四半期純利益	556,981	273,498
法人税等	217,325	104,735
四半期純利益	339,655	168,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,016	3,765
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,639	164,997

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月21日 至平成27年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月21日 至平成28年6月20日)
四半期純利益	339,655	168,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,072	△890
退職給付に係る調整額	△13,681	△12,993
為替換算調整勘定	21,087	△18,552
持分法適用会社に対する持分相当額	37,424	886
その他の包括利益合計	56,903	△31,550
四半期包括利益	396,558	137,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,590	136,058
非支配株主に係る四半期包括利益	5,968	1,154

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年9月21日 至 平成27年6月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年12月11日 定時株主総会	普通株式	68,862	6.00	平成26年9月20日	平成26年12月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年9月21日 至 平成28年6月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年12月10日 定時株主総会	普通株式	114,747	10.00	平成27年9月20日	平成27年12月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年9月21日 至 平成27年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,574,341	12,679,983	1,172,921	17,427,246	12,030	17,439,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,574,341	12,679,983	1,172,921	17,427,246	12,030	17,439,277
セグメント利益	498,626	2,483,553	116,088	3,098,268	12,030	3,110,298

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,098,268
「その他」の区分の利益	12,030
全社費用(注)	△2,726,940
四半期連結損益計算書の営業利益	383,358

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年9月21日 至 平成28年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,531,937	13,003,400	1,381,033	17,916,371	16,581	17,932,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,531,937	13,003,400	1,381,033	17,916,371	16,581	17,932,953
セグメント利益	496,951	2,639,344	136,959	3,273,255	16,581	3,289,837

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,273,255
「その他」の区分の利益	16,581
全社費用(注)	△2,826,667
四半期連結損益計算書の営業利益	463,169

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。